

令和4年度（2022年度）第1回函館市まち・ひと・しごと創生推進会議

会議録

- 開催日時：令和4年（2022年）11月30日（水） 18:30～19:30
- 開催場所：函館市本庁舎8階第2会議室
- 出席者
委員：齋藤委員，岡崎委員，奥平委員，本郷委員，相庭委員
（委員名簿順 [5名]）
市側：[企画部] 柏部長，横田室長，阿部次長，高橋課長，鹿内主査，佐々木主事

次 第

- 1 開 会
- 2 委員および事務局紹介
- 3 議 事
 - (1) 委員長および副委員長の選任について
 - (2) 第2期函館市活性化総合戦略の評価・検証について[令和3年度実績]
 - (3) 第2期函館市活性化総合戦略の一部改訂について
 - (4) 地方創生交付金対象事業の評価・検証について[令和3年度実施事業]
 - (5) 企業版ふるさと納税活用事業実績および評価・検証について
[令和3年度実績]
- 4 その他
- 5 閉 会

..... 1 開 会

(事務局 高橋課長)

ただ今から、令和4年度第1回函館市まち・ひと・しごと創生推進会議を開催する。

私は、事務局の企画部計画推進室計画調整課長の高橋である。

本会議については原則公開で行い、会議内容については、開催後に本市のホームページで公開する。

本日の会議は、都合により3名の委員が欠席しているが、委員8名中、過半数の5名の出席があることから、会議が成立することを報告する。

..... 2 委員および事務局紹介

(事務局 高橋課長)

今回は、委員改選後、初めての会議であるため、選任された委員を紹介する。

産業分野から、函館商工会議所の齋藤委員。

学識分野から、函館短期大学の岡崎委員。

同じく学識分野から、北海道教育大学函館校の奥平委員。

金融の分野から、北洋銀行の本郷委員。

報道関係の分野から、株式会社ニューメディア函館センターの相庭委員。

以上、委員5名に出席いただいている。

また、本日欠席となっているが、産業分野から五稜郭タワー株式会社の中野委員、労働の分野から連合北海道函館地区連合会の長谷川委員、公募委員の北見委員の計8名である。

次に、事務局職員を紹介する。

企画部長の柏である。

(事務局 柏部長)

本日は、委員改選後の初めての会議である。

寒いなかご参集いただき、また、忙しいところ委員に就任していただき、感謝している。

ご承知のとおり、本市の人口は、毎年3千人規模で減少しており、人口減少対策については、長期的な視点で継続して取り組む必要があると考えている。

今回の評価を踏まえながら、各種施策を確実に進めたいと思っている。

本日は、よろしくお願ひしたい。

(事務局 高橋課長)

次に、計画推進室長の横田である。企画部次長の阿部である。計画調整課主査の鹿内である。計画調整課の佐々木である。

..... 3 議 事

(1) 委員長および副委員長の選任について

(事務局 高橋課長)

まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱第4条第3項に基づき、本来は委員長が会議の進行を務めるが、委員長が決定するまでの間、私が議事進行を務める。

それでは設置要綱第5条第2項に基づく委員長の互選について、事務局から提案したいが、よろしいか。

(異議なし)

委員長は、奥平委員にお願いしたい。よろしいか。

(異議なし)

奥平委員に委員長をお願いする。以降の進行は、奥平委員長にお願いする。

(奥平委員長)

本日は、皆様には、お寒いなかお集まりいただいた。

たくさんの議事があるが、円滑に進めたいと思うのでご協力をお願いする。

次に、副委員長の選任だが、私から推薦したいが、よろしいか。

(異議なし)

副委員長には、岡崎委員を推薦したいが、よろしいか。

(異議なし)

副委員長は、岡崎委員に決定する。

(岡崎副委員長)

皆様の意見を頂きながら、函館の将来について、話し合いが出来れば有意義である。

本日は、よろしくお願いしたい。

(2) 第2期函館市活性化総合戦略の評価・検証について[令和3年度実績]

(奥平委員長)

本日は、4件の議題があり、1つ目は第2期活性化総合戦略の令和3年度実績の評価・検証について、2つ目は第2期活性化総合戦略の一部改訂について、3つ目は地方創生交付金対象事業の令和3年度実績の評価・検証について、4つ目は企業版ふるさと納税活用事業の令和3年度実績の評価・検証についてである。

それでは、早速、議事(2)「第2期函館市活性化総合戦略の評価・検証」に入る。

資料1と2について、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局 高橋課長)

【資料1】に基づき説明

(事務局 鹿内主査)

【資料2】に基づき説明

(奥平委員長)

ただ今の説明への質問と意見の前に、新しい委員がいるので、KPIについて少し説明していただきたい。

(事務局 高橋課長)

KPIについては、「セミナーを何回開催する」といった単純な目標値ではなく、「セミナーを開催することにより、結果的に市民が健康になる」といった結果が返ってくるような目標値を設

定している。

全てをそのような目標に設定することが難しいため、なかには直接的な目標となっているものもあるが、基本的には「様々な取り組みによって達成される目標値」をKPIとしている。

(奥平委員長)

個人的な意見としては、評価BやCが多かった状況が改善され、良かったと感じている。

1番の「地域包括支援センターの相談件数」については、令和3年度実績が前年度より増加したため、評価Aとしているが、令和6年度の目標値を「増加」としているのであれば、評価Sでも良いのではないかと思う。

どうしても内部評価をすると、低く評価する傾向があるように感じる。

(事務局 高橋課長)

ご意見のとおり、具体的な数値目標がない項目については、S評価としても差し支えないものと思っているが、来年度の評価の際に、改めて検討したい。

(奥平委員長)

ほかに何かあるか。

(岡崎副委員長)

1番の「地域包括支援センターの相談件数」については、令和4年度から業務を拡大したので、今後は質の違った形で相談件数が増えると思う。

地域包括支援センターの職員から話を聞く機会があり、今までは高齢者の相談窓口であったが、4月からは、DVや児童虐待などこれまで経験したことがない相談を受けるようになり、はじめはよくわからない、不安というような声を聞いた。

職員の戸惑いが少なくなるような研修や各関係機関などとの連携のあり方について、行政がイニシアチブをとっていただきたい。

(事務局 高橋課長)

地域包括支援センターについては、保健福祉部が担当しているが、「福祉のまち」としての肝となる政策である。

引きこもりや80・50問題、DV、虐待など幅広い相談への対応に苦慮することもあると聞いているが、そのために人材育成や研修などに取り組んでいる。良いものをつくっても、回らなければ元も子もないので、先ほどの意見は、担当部へ伝え、より良いものにしていきたいと考えている。

(奥平委員長)

ほかに何かあるか。

(齋藤委員)

特にこの2年はコロナ禍もあり、「環境による変化」が圧倒的に多いと感じる。このような影響による場合には、評価不能とすべきと考える。

宿泊業界の話をする、「平均宿泊日数」は1.24泊が平均であり、年によって多少のずれはあるが、20年ほとんど変わらない数字である。日本の休暇制度等々が変わらない限り、まず変わらないので、何よりも外国人観光客を増やすこと必要である。

また、先ほどの話と同様に、「外国人宿泊者数」や「クルーズ船の寄港数」も、評価不能で良いと思う。

業界的な話では、スポーツ合宿がこの2年かなり減っている。スポーツ合宿に関する予算が北斗市などに比べて少ない。函館市で行う合宿でも、宿泊が北斗市に取られてしまうケースがあるので、考えていただきたい。

最後に、公共建築物の耐震化についても、廃校の影響で結果的に上昇しているのであれば、評価不能とすべきではないか。

(事務局 高橋課長)

去年は、コロナの影響により、評価Cが多かった。確かに、市の努力や政策の内容ではなく、社会情勢の変化によるものは、評価対象外とする考え方もあるが、まずは、視覚的にもわかりやすく、数値の増減により、評価できるものはできるだけ評価を行い、右の欄において、文章的に内容を補完することとしている。

外国人観光客については、先月、台湾航空便の就航に向けたトップセールスを行い、また、国でも、国際クルーズ船の受入を発表したので、誘致活動に力を入れ、外国人の受け入れを促進していく。

スポーツ合宿については、教育委員会で力を入れて取り組んでいるが、意見があったことについて伝える。

(奥平委員長)

ほかに何かあるか。

(委員から特に質問、意見等なし)

それでは、これをもって、評価・検証については終了する。

(3) 第2期函館市活性化総合戦略の一部改訂について

(奥平委員長)

それでは、議事の(3)「第2期函館市活性化総合戦略の一部改訂」について、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局 高橋課長)

【資料3】に基づき説明

(奥平委員長)

今回のKPIの改訂により、現実に即した形に変わり、特に問題はないと思うが、何か質問や意見はあるか。

(委員から特に質問、意見等なし)

それでは、これをもって、改訂内容の確認について終了する。

(4) 地方創生交付金対象事業の評価・検証について[令和3年度実施事業]

(奥平委員長)

次に、議事の(4)「地方創生交付金対象事業の評価・検証」について、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局 鹿内主査)

【 資料 4 】に基づき説明

(奥平委員長)

何か質問，意見はあるか。

(岡崎副委員長)

2 ページの「外国人労働者採用セミナーの開催」について，令和 3 年度はコロナにより中止となったが，介護の現場などでは，外国人労働者が重宝され，非常に優秀な人材で，入居者の評判も良い。したがって，外国人労働者採用のためのセミナーなどは非常に重要である。

企業側も，現地まで行き，人材を確保する努力をしているという話を聞くので，市も，周知・啓発や窓口を広げる取り組みをしていただきたい。

(事務局 高橋課長)

経済部の雇用労政課では，求人中の企業向けの窓口も設置している。あまり知られていないのであれば，さらに発信に努めるよう，担当部に伝える。

(奥平委員長)

同じページに「日本語教室の開催」などがあるが，教育大には日本語教員養成課程があり，こうした学生たちを活用するなど，大学との協働についても，是非，検討して欲しい。

(事務局 高橋課長)

新聞記事などでも，教育大学が外国人実習生と交流している話題を目にする。ただ今のご意見については，担当課の国際・地域交流課に伝えたいと思う。

(奥平委員長)

ほかに意見，質問はあるか。

(委員から特に質問，意見なし)

それでは，地方創生交付金事業の評価・検証については，これをもって了承とする。

(5) 企業版ふるさと納税活用事業の評価・検証 [令和 3 年度] について

(奥平委員長)

次に，議事の(5)「企業版ふるさと納税活用事業の評価・検証」について，事務局から説明をお願いしたい。

(事務局 鹿内主査)

【 資料 5 】に基づき説明

(奥平委員長)

何か質問，意見はあるか。

(齋藤委員)

寄附を行った会社はどこか。

(事務局 高橋課長)

イオン北海道や第一生命，東銀リアルエステートなど。
会社名と寄附金額は，ホームページで公表している。

(奥平委員長)

資料に企業名が記載されていたほうが良い。

(事務局 高橋課長)

公表している情報なので，次回からは企業名等を記載する。

(奥平委員長)

ほかに質問，意見はあるか。

(委員から特に質問，意見はなし)

それでは，これで議題はすべて終了となる。

..... **4 そ の 他**

(奥平委員長)

その他として，各委員から何かあるか。

(なし)

事務局から何かあるか。

(事務局 高橋課長)

会議の議事録について，とりまとめ次第，委員に確認のうえ公表予定である。

(奥平委員長)

他に何か質問等はあるか。

(なし)

..... **5 閉 会**

(奥平委員長)

これをもって，令和4年度第1回函館市まち・ひと・しごと創生推進会議を終了する。スムーズな議事進行へのご協力に感謝する。

以上